



2019-2020 主題

国際会長：Jennifer Jones	"Building today for a better tomorrow "
	"On the MOVE!!" [さあ動こう!!]
アジア太平洋地域会長：田中 博之	"Action!" 「アクション！」
東日本区理事：山田 敏明	「勇気ある変革」
	「みんなで力をあわせて1.2.3」
湘南・沖縄部長：森田 幸次郎	「ワイズを社会に広める基盤の再構築をする」
クラブ会長：久保 勝昭	「良きつながりを持って”心ひとつに” 「無理のない奉仕活動を」



つるみクラブと会員増強

横浜つるみワイズメンズクラブ会長 久保 勝昭

2019年7月より横浜つるみワイズメンズクラブ（以下つるみクラブ）として本格的な活動がはじまった。12月まで、本例会6回、役員会6回を実施、出席率も一度だけ67%と低い時はあったもののその他は90%以上と比較的よい実績を残す事が出来たと思っている。ファンドレイジング、他のクラブとの交流、支援と、メンバーの協力のもと、小人数のクラブとしては大きな成果を残す事ができた。2020年1月16日（木）鶴見区社会福祉協議会が主催している、第5回ボランティア市民活動団体分科会に参加する機会を頂き、つるみクラブのPRをさせていただいた。

また2月22日（土）の鶴見・あいねっと推進フォーラムに参加する事が出来、この時間を使ってワイズメンズクラブを多くの人に知って頂ければと思っています。

10月24日第3回、湘南・沖縄部のエクステンション委員会で部の会員増強の目標が示された。2019年7月現在103名を2022年までに139名とし、新設クラブを1~2クラブ作り11名増やし139名とする。この事により、つるみクラブも2022年までに6名の増強考えている。そして2020年2月1日東京YMCAで行われた2019~20東日本区change2022のシンポジウムに出席し、そのノウハウを学び、クラブ運営の参考になればとの思いと、また我がクラブの現状と照らし合わせてみた。

「ワイズの抱える課題」：会員の減少、高齢化等、知名度の低さ、金銭負担・勧誘の難しさ、違和感のある例会プログラム、楽しくない、魅力のない例会、魅力のあるCS活動不足等

★「会員の減少」：8名+担当主事でスタートしたが、現在、退会した人はいない。この人数は決して多いとは思わない。また違和感がある例会というのは、キリスト教の儀式の事を指していると思うが、つるみクラブはキリスト教に携わっている人が一人もいないので、賛美歌、お祈り等は、していないが、ワイズの信条とワイズソングだけは唱和している。これはワイズにとって大事な基本条件であると思っている。今後メンバーにキリスト者が入会してきても、このスタイルは変えるつもりはないし、最近ハッピーバースデーも違和感があるという人がいるので止めるつもりである。

★「地域に根ざしたワイズ独自の魅力あるCS活動」

2019年9月22日、潮田地区センター秋祭り、10月26・27日寛政中学校コミュニティーハウス秋まつり、11月9、10日生麦ケアプラザまつりに参加、カレンダー作り、やきそば作りと、積極的なボランティア活動に努めた。これらの事は地域に根差したCS活動として今後も続けたいと思う。

★「16名が36名へ、会員増強の実践」甲府21クラブ」直前会長 野々垣健五ワイズの発表から
会員増加の秘訣？なぜ増やしたいのか？目的は？

- ◎「会員が15人以下ではギリギリ運営」・書記、会計さんのコンビネーション必要、不可欠。
- ◎「入ってもらおうとする、誘うとする意欲」「入会案内のチラシ」は必携品・誘うとする意欲の証。
- ◎YMCAの活動に参加して・奉仕の喜び体験・感動、人と人との繋がり。
- ◎増えていく中で・各委員会の積極てきな参加。以上増強のノウハウがこのなかにある。

★グループ・ディスカッションまとめ

- 各種会合のキリスト教の儀式を見直し、全ての人が入りやすいクラブ運営、違和感のないプログラム、入りたくなるワイズの雰囲気をつくる。
- 奉仕活動をする喜び、そこから生まれる人と人との絆の大切さ。

Change!2022 シンポジウム



山田東日本区理事 あいさつ



甲府21クラブ直前会長
野々垣健五ワイズ

グループディスカッション まとめ発表



伊藤幾夫推進委員



藤井寛敏元東日本区理事

鶴見区災害ボランティアセンター立上げ訓練実施報告

鶴見中央地域ケアプラザ所長 島田 徹

鶴見区災害ボランティアによる、災害時のボランティアセンター立上げ訓練を1月17日(木)に鶴見区役所にて実施しました。この訓練は、14年前より実施しており、当日は早朝7時からの訓練でしたが、ボランティア約40名、地域防災協関係者約50名、鶴見区役所職員約40名の参加があり、YMCAからは3名参加しました。内容は「ニーズの把握」「ニーズの発信」「ボランティアマッチング」など本番で対応できるように、様々場面を想定して実施することができました。

災害はないほうがいいのですが、来てからでは遅いので、日ごろからの準備が必要だと改めて感じました。



<横浜つるみワイズメンズクラブ第7回例会>

日時：2020年1月10日(金) 18:00~20:00
 場所：横浜市鶴見中央地域ケアプラザボランティアルーム
 出席者：久保、島田、久米、駒井、新改、中村、松井、吉本、渡邊
 【プログラム】 司会進行 渡邊 光枝
 ◎開会点鐘・ワイズソング・ワイズの信条
 開会挨拶：久保勝昭 島田所長挨拶
 【報告事項】 1. 12/17(火)18:20~19:00 JR 鶴見駅前キャロリング
 2. 12/19(木)18:30~20:00 横浜 YMCA クリスマス会
 3. 12/21(土)18:00~ つるみクラブ忘年会(一品持寄り)
 4. 12/02(火)19:00~20:30 Y-Y協議会 中央 YMCA
 5. 12/11(日)11:30~ ふれあいの家クリスマス会
 6. 12/18(水)13:30~15:30 生麦地域ケアプラザうたごえ広場
 【審議事項】 ① 横浜 YMCA 維持会員増強キャンペーン実施の件
 ② 2020/2/22(土)17:00~20:00 湘南・沖縄部 部大会
 ③ その他
 ★ 2020/1/11(土) 14:00~18:00 在京ワイズ合同新年会
 【連絡事項】 ★ 2020/1/18(土) 14:00~16:00 役員会 中央 YMCA
 横浜 YMCA & ワイズメンズクラブ 合同新年会 18:00~20:00
 ★ 2020/1/16(木) 13:00~15:00 鶴見社会福祉協議会会議
 エクステンション委員会 中央 YMCA 16:00~
 ★ 2019~2020 年度東日本区 CHANGE! 2022 シンポジウム
 2020/2/1(土)13:00~16:30 東京 YMCA 保育専門学校
 【ハッピーニュースデイ】1月2日 吉本正子ワイズ
 ◎閉会点鐘：久保勝昭

1月在籍者数		1月出席者数		出席率
メンバー	9名	メンバー	9名	100%
計	9名	合計	9名	100%

<役員会>

2/3(月) 10:30~15:00
 出席者：久保、久米、新改、中村
 議題
 ○ 例会プログラム
 ○ ブリテン内容の検討
 ○ その他

＝箱根駅伝観戦会＝

新年はじめての集いが1月3日(金)に、つるみクラブ本部である久保会長宅で行われました。つるみクラブ設立当時よりお世話になっている「つづきクラブ」から5名の参加者があり、また、「横浜クラブ」から田口横浜YMCA 総主事が参加してくださいました。会長宅前の箱根駅伝のコース沿いで復路の応援をしました。「がんばって～!!」と言っている間に走り去ってしまう早さに驚きました。私が応援している神奈川大学がなかなか来ないのでハラハラしましたが、一生懸命走っている姿を間近でみる事ができて感動しました。その後、一品持ちよりの新年会になりました。テーブルいっぱい

並んだお料理を食べているとき、青学の優勝を知り、青学を母校とするメンバーがいて、みんなで喜び、食が進みました。酔いが回る頃、カラオケが始まり大いに盛り上がり楽しいひとときを過ごしました。後片付けもせず、新年早々、久保夫人にご迷惑をお掛けしました。(中村 純子 記)



＝エクステンション委員会＝

日時： 2020年1月16日
場所： 中央YMCA
出席： 久保勝昭・久米康子

沖縄、那覇クラブの現状と今後の進展状況の説明があり、金子ワイスより以前とさほど変わりなく、那覇クラブの復帰をうながして行く。質問事項として例会に於いて賛美歌、お祈りをする事は、各クラブの裁量に委ねる事とする。(久米 康子 記)

＝横浜YMCA&ワイズメンズクラブ 合同新年会＝

去る1月18日(土)に 横浜YMCA&ワイズメンズクラブの合同新年会が「北京飯店」で行われました。私にとっては、初めてのことであり、私には「ピーマン・アレルギー」があって、ピーマン料理は食べられません。高校の頃、陸上部の合宿があり、初めてピーマンを食べてお腹が痛くなり、リヤカーで近くの病院に運ばれた経験があり、その時「ピーマン・アレルギー」とわかり、それ以来たべることができません。以前、やはり会社で、こちらで忘年会をやった時は、ほとんどピーマンが入っていて、一品しか食べられなかったことを思い出し、「北京飯店」でのお食事となると、ピーマンが入っていると思い覚悟していきました。緊張と食べられないのではとの事で覚悟していたのですが、いっしょに同席された「つづきクラブ」の皆様が、こんな私にたいへん気を遣ってください、「これは食べてはだめよ、こちらは大丈夫だから、たくさん食べてね」等と、やさしくお心づかいをいただき、あたたかいお心づかいで、お腹も心もいっぱいになり、あっという間に時間も経っていました。皆様のあたたかいやさしさで、お腹も心も満足できた初めての新年会でした。ほんとうに、ほんとうに、ありがとうございました。(駒井 恵美子 記)

